

水 質浄化キャンペーンを実施 行方市家庭排水浄化推進協議会

9月12日（土）、セイミヤモール麻生店で、行方市家庭排水浄化推進協議会による啓発活動が行われました。この活動は、霞ヶ浦・北浦の水質の現状について認識を深めるとともに、環境にやさしい地域づくりをすすめることを目的としたものです。水質浄化を図るために、生活排水対策として使用できる、洗剤のいらないアクリルたわし等を配布しました。



手話言語の国際デー / 手話の日とは？

2017（平成29）年12月19日に、国連総会で決議された国際デーです。手話が、音声言語と対等な言語であることを世界に周知し、聴覚障がい者の人権尊重を促す日です。日本では、9月23日を「手話の日」として定めています。



虹の塔が青色にライトアップ 霞ヶ浦ふれあいランド 虹の塔

9月16日（水）から9月23日（水）までの8日間、霞ヶ浦ふれあいランドの虹の塔を、国連や世界ろう連盟のシンボルカラーである青色にライトアップされました。この取り組みは、9月23日（水）の「手話言語の国際デー / 手話の日」に合わせた活動の一環で行われたものです。さまざまな建物を青色で彩る取り組みは、全世界で行われており、聞こえない・聞こえにくい人と聞こえる人が一つになる瞬間を共有するものです。本市では、今後も手話の理解および普及に努めていきます。

行 方かんしょを使った新商品を発売 行方市さつまいも課

9月17日（木）、水戸京成百貨店で、「行方かんしょ（べにゆうか）」を使用した新商品「紅はるかの長福寺餅」（ちようふくしもち）の販売記念セレモニーが開催されました。この商品は、行方市さつまいも課と日本航空株式会社、株式会社笹屋伊織、JAなめがたしおさい等が連携し、共同開発したものです。セレモニーの当日は、かんしょカーも登場し、行方かんしょの魅力を広く発信しました。



高 校生が地元企業を知る機会に 玉造工業高等学校

9月25日（金）、県立玉造工業高等学校で市内企業等説明会が開催されました。本説明会は、同校と常陽銀行の共催で開催されたもので、市内15社が参加し、同校2年生86人が企業ごとのブースで、仕事内容や職場の雰囲気について説明を受けました。生徒は真剣に耳を傾けており、地元で働く魅力を学ぶ機会となりました。企業にとっても、将来の人材に向け自社をPRできる場となり、地域の産業振興と若者の定着促進につながる取り組みとなりました。

円 滑な交通の確保や利便性の向上へ 県道水戸鉾田佐原線

10月2日(金)、県道水戸鉾田佐原線バイパスが開通することに伴い、式典が開催されました。本バイパスは、平成15(2003)年から茨城県が整備を進めてきたもので、約800メートル区間となります。当日は、茨城県、本市議会の関係者をはじめ、警察、地元関係者などが出席し、交通安全祈願式やテープカットなどが行われました。国道354号線との変則的な交差点も解消され、東関東自動車道水戸線から観光拠点へのアクセス性が向上し、地域のさらなる発展に寄与するものと期待されます。



長 寿を祝って記念品贈呈 市内在住の100歳を迎える方々

9月の敬老の日にあたり、本年度に100歳を迎える方々を市長が訪問し、内閣総理大臣および茨城県知事からの褒状・記念品を、市長が代わって贈呈しました。なお、市内では、21の方が100歳を迎えました。



家 族で野菜の収穫体験 家族で大豆を育てよう in なめがた

10月4日(日)、6月に苗植えを行った大豆の生育状況等の学習や、農業振興センター圃場で栽培されたサツマイモの収穫体験を実施し、16組54人が参加しました。大豆の収穫体験では、土から大豆を丁寧に引き抜き収穫することができました。また、サツマイモの収穫体験では、土を一生懸命掘りながら収穫している姿が印象的でした。これらの体験から、食への関心、健康づくり、農業への理解を深めることができました。



行方市営路線バス

麻生東ルート、北浦ルート、玉造ルートの3路線が
平日の月曜日から金曜日に運行中です。
時刻表は行方市ホームページをご覧ください。



行方市 市営路線バス

